

2020年3月25日

市川市長 村越祐民 殿
市川市教育長 田中庸恵 殿

新型コロナウイルス感染症への対応強化を求める有志議員の会
共同代表 増田 好秀
清水みな子

新型コロナウイルス感染症対策についての申し入れ

国内外での新型コロナウイルス感染が拡大し、県内でも49名(24日現在)うち市川市では、感染者トップの17名が発症し、多くの人々が不安を高めています。多くのイベントが延期や取りやめたことによって、個人消費も落ち込み、飲食店をはじめ多くの業種で売上げが激変しています。国の要請を前に、一律休校(園)、公共施設の休館などいち早く対応が行われましたが、あまりにも急なために多くの市民は、子どもの預け先や自身の仕事など対応に追われました。さらに期間を延長したことで、一時預かりや放課後保育クラブの受け入れ体制、また中高生の対応では、教育相談や学習指導が行われたものの、対応は学校によってさまざまであり、約1か月の休校で、子どもたちの学ぶ権利が保障されていない状況です。一時預かりや放課後保育クラブは、主に共働きやひとり親家庭の子どもに限られています。平常時であれば、公園、図書館、公共施設、まなび教室、ピーニングなどすべての子ども達の居場所があります。困っているのは、一時預かりや放課後保育クラブに通う以外の子ども達も含めたすべての子どもです。早急に子どもの居場所開放に向けて対応を求めるものです。なお、近隣他市の状況は以下の通りです。

松戸市 3月2日～24日臨時休校 2日は、給食後下校

この期間 児童生徒の一時預かり実施。

並びに放課後保育クラブも朝8時より受入れ可。

柏市 3月4日～当分の間休校

この期間 すべての子どもルーム43か所(学童保育)を朝8時より受入れ可。

浦安市 延長した3月16日～24日の対応

この期間 預かり対象の拡大と市立小学校の校庭を遊び場として開放。

図書館の貸し借りのみ、3月24日から再開。

【申し入れ事項】

○一律休校に伴う子どもの居場所確保について

- 1、公園や図書館、公民館などの公共施設を利用して子どもの居場所確保に努めること
- 2、公立学校の校庭開放をして、子どもの運動機能の低下をさせないよう努めること
- 3、放課後サービスの実態を把握し、財政的支援を行うこと

以上